スイートピー Lathyrus odoratus (マメ科)

マメ科の1年草で、芳香を発する. 冬咲き系、春咲き系、夏咲き系の3品種群があるが、切り花用には春咲き系品種が中心で、一部冬咲き系品種も用いられる. 暖地に作付けが多く、年末から翌春まで出荷される. 日射量が不足すると落蕾が起こりやすくなる. 1花茎に3~5輪をつけて出荷する. 典型的なエチレン感受性切り花で、出荷前のSTS処理が必須である. STS処理により落蕾および小花の老化をともに抑制することができる. 高温期の日持ちは悪く、灰色カビ病も発生しやすい.

1)品質評価基準

項目	判 定 基 準	備 考
小花の萎れ	A:萎れなし B:第1花が萎れる C:1/3の小花が萎れる D:1/2以上の小花が萎れる	小花のしおれは、A:萎れなし、B:花弁がやや閉じる、C:外側の花弁の一部に萎れが発生する、D:完全に萎れるとして判定する。C、Dの小花を萎れたたと判定する、小花が3輪の場合には1花が萎れた時点でC判定とする。
落蕾	A:落蕾なし 小花が開花せずに C:1花がが落下する D:1/3以上の花蕾が落下する	STSの処理が不足すると 発生がみられる.
軟弱茎	A:直立する B:ややしなる C:しなる(45°程度) D:しだれるまたは折れる	
花弁の退色	A:退色なし B:やや退色する C:激しく退色する D:花弁が透きとおる	染色されている場合には 評価対象外とする.
その他	花弁のしみ, 灰色カビ病の発生, 花茎の黄変など.	

2)留意点

品質評価開始時点で小花数および経時的に未開花数, 開花数, 老化数を測定する. 老化していない開花 小花が花茎当たり2輪以下でおおむね日持ち終了となる.

湿度が高いと灰色カビ病が発生しやすい. 発生個体は直ちに取り除く.

3)開花

